

端午の節句にちなんだ菓子

株式会社虎屋（代表取締役社長：黒川光博、所在地：東京都港区赤坂 4-9-22）は、端午の節句にちなんだ菓子を販売いたします。

●端午の節句とは・・・

端午の節句は、奈良時代より続く古い行事です。別名「菖蒲の節句」とも言われ、香りの強い菖蒲は邪気を払うと信じられていたことから、軒につるすなどし、無病息災を願いました。また、武家社会では、菖蒲が尚武（武を尊ぶ）に通じるところから、男子の成長を盛大に祝う行事として広まり、江戸時代には兜や鯉のぼりなどを飾る男子の節句として定着しました。

5 月 5 日の端午の節句は、3 月 3 日の桃（上巳）の節句と並んで、お子様の成長を祝い、家族の絆を深める機会として古くから親しまれています。この伝統行事を、大切なご家族とお楽しみください。

●端午の節句にちなんだ菓子



粽は中国から伝わった食べ物で、悪霊を払う意味がこめられています。日本では平安時代には宮中の端午の儀式に粽が使われていました。菓子としての甘い粽が一般に広まるのは、江戸時代に入ってからです。



各地区、三種類の粽をご用意しております。小豆の風味を生かした羊羹粽。吉野葛を使った水仙粽。コクのある味が特徴の白下糖入外良粽（関東地区）。もっちりとした食感の外良粽（関西地区）。

種類： 羊羹粽、水仙粽、
白下糖入外良粽（関東地区のみ）、
外良粽（関西地区のみ）

販売価格：1 本 380 円（本体価格）
3 本束 1,140 円（本体価格）
5 本束 1,900 円（本体価格）
10 本束 3,800 円（本体価格）

販売期間：5 月 1 日（木）～5 月 5 日（月）
販売店：全直営店・売店（一部店舗を除く）

■ 柏 餅 ■

柏の葉は新芽が出るまで古い葉を落とさないため、子孫繁栄に繋がるとされ、柏餅は縁起菓子として江戸時代より親しまれています。



上質の小豆の風味豊かで、なめらかな口あたりの御膳餡と、京都の白味噌で仕立てた、まろやかな風味の味噌餡でおつくりしました。

種類： 御膳餡（こし餡）、味噌餡
販売価格： 280 円（本体価格）
販売店： 生菓子販売店、ほか一部店舗
販売期間： 4 月 21 日（月）～5 月 5 日（月）
（店舗により異なります。）
※販売店・販売期間の詳細はお問合せください。

■ ^{さつき}五月のぼり ■



^{さつき}五月のぼりとは、端午の節句に、男子の成長を祝って立てる ^{のぼり}幟の意。ご贈答にもお使いいただけるよう、日保ちのする小形羊羹を端午の節句にちなんだ限定パッケージでご用意しました。

種類： 小倉羊羹『夜の梅』（鯉幟）
黒砂糖入羊羹『おもかげ』（兜）
抹茶入羊羹『新緑』（菖蒲）
販売価格： 1 本 240 円（本体価格）
5 本入 1,300 円（本体価格）
10 本入 2,500 円（本体価格）
販売期間： 4 月 7 日（月）～5 月 5 日（月）
販売店： 全店

■ 季節の羊羹（中形） ^{あやめ}菖蒲あわせ ■



咲き競う ^{あやめ}菖蒲を思わせる優美な色合いの羊羹です。菓銘は平安時代の遊戯にちなみました。

販売価格： 1,950 円（本体価格）
販売期間： 4 月 7 日（月）～5 月 5 日（月）
販売店： 全店

< 本件に関するお問い合わせ >

株式会社 虎屋 社長室広報課 担当：小泉

電話：03-3408-4128 FAX：03-3796-1548 MAIL：kouhou@toraya-group.co.jp